

平成 16 年度 病虫害発生予察情報 速報 第 1 号

果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ）の発生状況について

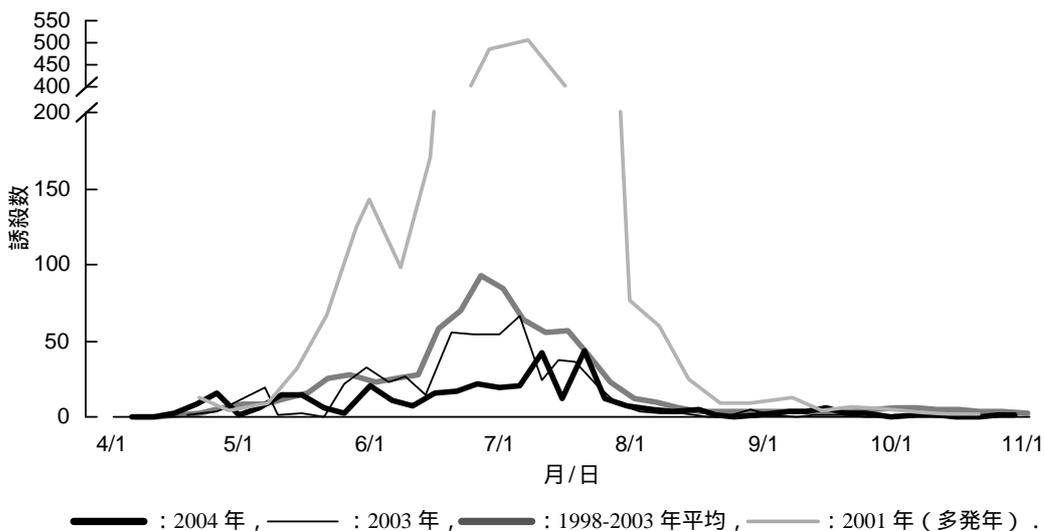
1. 発生状況

- (1) 昨年（2004年）秋期のチャバネアオカメムシのフェロモントラップへの誘殺数は、昨年に比べても、また例年に比べても少なかった（図1）。
- (2) 2005（平成17）年2月24日に広葉樹林の落葉中におけるチャバネアオカメムシ成虫の越冬個体数を都内4地域（各地域1 m² × 2～5地点，総計13 m²）で調査した結果，昨年は1地点でのみ確認されたが，今年は何の地点でも確認されなかった（表1）。

2. 発生予想

- (1) 以上の結果と気象庁発表の3か月予報（3～5月：平均気温・降水量ともに平年並み）から，2005（平成17）年春期～夏期（4～7月）のチャバネアオカメムシ発生量はやや少ない～例年並と予想される。
- (2) 今後の発生については，予察情報に注意されたい。
- (3) 防除薬剤については，表2を参照されたい。

なお既に報じられているとおり，今年の春のスギ花粉は例年の数十倍量と予想されており，カメムシの餌となる実の激増が予想され，秋期の2世代目の発生量が急増する可能性が高い。今後の情報に注意されたい。



— : 2004年，— : 2003年，— : 1998-2003年平均，— : 2001年(多発年)。
図1 チャバネアオカメムシフェロモントラップ誘殺数の推移（立川市）

表1 チャバネアオカメムシ越冬量調査結果 (2005年2月24日採集, 3月2日調査)

調査地域	調査面積(m ²)	採集個体数	地域内平均個体数 (個体/m ²)	昨年(2004年)の データ(個体/m ²)
稲城市小田良-1	1	0		
稲城市小田良-2	1	0		
稲城市小田良-3	1	0		
稲城市小田良-4	1	0		
稲城市小田良-5	1	0	0.00	0.00 (3地点)
稲城市坂浜-1	1	0		
稲城市坂浜-2	1	0		
稲城市坂浜-3	1	0	0.00	0.00
日野市三沢-1	1	0		
日野市三沢-2	1	0		
日野市三沢-3	1	0	0.00	0.00
立川市富士見町-1	1	0		
立川市富士見町-2	1	0	0.00	0.33 (3地点)
全地点平均個体数(個体/m ²)			0.00 (13地点)	0.09 (11地点)

表2 主な防除薬剤

薬剤名	薬剤の系統	使用回数	希釈倍率	ナシ	リンゴ
ア-デント水和剤*	合成ピレストイド	3	1000		
アグロスリン水和剤*	合成ピレストイド	3	1000-2000		
アディオン乳剤*	合成ピレストイド	2	2000		
アディオンフロアブル*	合成ピレストイド	2	1500		
ロディー水和剤*	合成ピレストイド	2	1000		
Mr. ジョーカー水和剤*	有機ケイ素	2	2000		
スプラサイド水和剤	有機リン	2	1500	無袋	
スミチオン水和剤40	有機リン	ナシ6/リンゴ3	800-1000		
スミチオン乳剤	有機リン	6	1000		
アドマイヤー顆粒水和剤	ネオニコチノイド	2	5000		
ベストガード水溶剤	ネオニコチノイド	3	1000		
アクタラ顆粒水溶剤	ネオニコチノイド	ナシ3/リンゴ2	2000		
アルバリン顆粒水溶剤	ネオニコチノイド	ナシ3/リンゴ2	2000		
スタークル顆粒水溶剤	ネオニコチノイド	ナシ3/リンゴ2	2000		
ノンマイト水和剤	IGR・合ピレ	1	1500		

*印は桑園の近くで使用してはなりません。

.....

防除所ホームページ<http://www.jppn.ne.jp/tokyo>

テレホンサービス042(525)8407

今後の予察情報にご注意下さい。

E-mail アドレスS0200303@section.metro.tokyo.jp